

百人一首の暗誦 桃 十九

①すらすら読む

皇太后宮太夫俊成
こうたいごうぐうのだいぶとしなり

よ なか みち
世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る
おもいいい
やま おく
山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる
しか な

②ていねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

山	道	世							
の	こ	の							
奥	そ	中							
に	な	よ							
も	け								
	れ								
鹿						皇			
ぞ	思					太			
鳴	ひ					后			
く	入					宮			
な	る					太			
る						夫			
						俊			
						成			

④何も見ずに言う (暗誦)

合格チェック

